

## 【第 117 回対策本部会議】 1 月 24 日

知事／本日の感染者数は、過去最高の 299 人。本県は、リアルタイムで数字を計上しているの  
で、月曜日として現実に近い数字になっている。20 日連続で前の週の同じ曜日を上回わり、ま  
だまだ、感染者が増加中だということ。

コロナウイルスボードに「うち中等症者」という欄を設けた。病床使用率 36.1%のうち、中等  
症者は 8.1%。母数の増加に伴い、中等症者も増加傾向にある。

本日午前中に、まん延防止等重点措置の適用を申請した。今回は、福岡県、大分県と 3 県  
が連携して取り組む。予定では、25 日に適用が決定される。時短措置の内容や方向性をでき  
るだけ早く皆さんにお伝えしたく、決定を見込み説明する。

### まん延防止等重点措置

➤ 対象区域は、佐賀県全域。

デルタ株は旧唐津市のみで抑え込めたが、オミクロン株は感染力が強く、全県を対象とする。

➤ 対象期間は、国が決める。1 月 27 日開始を想定している。

➤ 時短要請は、国の方針を基本に設定した。認証店と認証店以外で整理する。

- ・認証店以外の営業時間は 20 時まで。酒類の提供は、終日できない。協力金は 3 万円から。
- ・認証店の営業時間は 21 時まで。酒類の提供はできる。協力金は 3 万円から。

飲食店への影響を軽減するため、認証店の協力金は、国の基準 2.5 万円に県独自で上乘  
せし同額にした。認証店への申請は、今からでもできる。申請があれば、「現地認証チーム」が  
現地確認し、認証店の表示を貼る。

飲食店の皆さん方には心苦しい限りだが、チーム佐賀として取り組んでいただきたい。

### 佐賀支え愛宿泊キャンペーンについて

➤ 新規予約は、県民割・隣県割ともに 1 月 25 日から一時停止。

➤ 予約済みの隣県割は、1 月 31 日から一時停止。

➤ 予約済みの県民割は、継続する。

まん延防止等重点措置開始の前日、26 日に再度詳細をお示しする。

文化・スポーツ交流局長／佐賀支え愛宿泊キャンペーンの一時停止について補足説明する。

隣県割の既存予約は、25 日から 30 日までの 6 日間を猶予期間とする。その間に、キャンセ  
ルか割引を使わず利用するかを選択する。キャンセルを選択した場合、キャンセル料は無料。

政策部長／猶予期間中は、キャンペーンを使って宿泊できるのか。

文化・スポーツ交流局長／使える。

政策部長／キャンペーンは、30日まで利用できる。利用をやめてもキャンセル料はかからない。それ以降の予約分も含め、キャンセルするなら30日までにということ。

知事／この件は、もう一度26日に詳細をわかりやすく説明してください。

産業労働部長／「SAGA おいし〜と食事券」の利用期限は、31日まで。延長はない。

利用の際は、感染症対策を取り、小人数での利用を。また、テイクアウトでも使用できる。お手持ち分を31日までに使い切るようお願いする。

坂本副知事／返金はできるのか。

産業労働部長／未使用分でも返金できない。

健康福祉部長／この1週間の感染者数は、23日以外は200人を超えている。本日は、過去最多の299人。30歳以下が6割、若年層が多い傾向は変わらない。

オミクロン株の感染スピードは非常に速く、保育所、学校、高齢者施設などで多くの感染が見られる。感染者の増加とともに、高齢者や基礎疾患がある人、重症化リスクの高い人への感染が懸念される。

病床使用率は36.1%、重症者はいない。中等症は8.1%。ホテル使用率は、39.8%。自宅療養者は、1,379人。重症化リスクに応じて、医師が療養先を判断している。

県のホームページに「新型コロナウイルス濃厚接触チェックリスト」を掲載した。

感染する恐れのある期間に会ったかどうかがポイント。

① 感染のおそれがある期間を調べる。

陽性者に、症状が出た日を確認する。症状がない場合は、検査日。

それぞれの日にちの2日前からが感染のおそれがある期間。

② その期間に会っていたかどうか。

会っていなければ、感染の可能性は低く、今まで通り感染に注意して過ごす。

会っていたら、次に進む。

③ どのような状況だったか。

項目をチェックし、当てはまらなければ感染の可能性は低い。

1つでも当てはまれば次に進む。

④ 会ったときの行動について。

項目チェックし、当てはまらなければ感染の可能性は低い。

1つでも当てはまった場合、濃厚接触に該当する。陽性者と最後に会った日の翌日から10日間の自宅待機をお願いします。

待機期間中は毎日検温、自分で健康観察をして、不要不急の外出は控える。待機中に症状が出た場合、かかりつけ医に電話で相談する。かかりつけ医がない場合は、「受診・相談センター」に相談を。

全国的に感染者数が増加している。県民の皆様には、正しいマスク着用、感染症対策の徹底。会食の際は、少人数、短時間をお願いします。

知事／県内の動きを分析すると、家族、職場、学校、保育園をループ状に広がっている。そこに病院や施設が加わると、重点的に対応することになる。

重症者はいないが、感染者数が増えるに従い、中等症が少しずつ増え、中等症病床使用率が8.1%。重症化しないオミクロン株とはいえ、病床を圧迫していく。救急医療、一般診療を守るものが我々のミッション。注視し、運用していく。

まん延防止等重点措置を要請した。26日に再度本部会議を開いて、詳細を説明する。

国には、オミクロン株の特徴にあった戦略を立てるようお願いしたい。

改めて、保健所、医療現場の皆さん、介護、福祉、保育所、教育現場の方々に感謝申し上げます。引き続き、誹謗中傷は決して行わないように。

あらゆるリスクを考えながら、佐賀県は真っすぐに対応していく。